

令和3年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和3年12月実施、教職員：令和4年2月実施]	学校評価委員会からの意見																								
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校の給食は充実している。(中学 肯定率 62.3%。昨年度より 4.3%増。) ・ この学校は、生徒に清掃、校内美化にしっかり取り組ませている。(高校 肯定率 76.0%。昨年度より 9.5%増。) ・ 私のクラスに来る先生は、宿題や課題をよく出す。(高校 肯定率 95.6%。昨年度より 8.2%増) ・ この学校では、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。(高校 肯定率 85.3%。昨年度より 7.3%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私には、読書の習慣がある。(中学 肯定率 47.8%。昨年度より 8.4%減。) ・ 私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命理解しようとしている。(中学 肯定率 80.6%。昨年度より 5.5%減。) ・ 私は、この学校に悩みなどを相談できる友人がいる。(中学 肯定率 79.7%。昨年度より 5.5%減。) ・ 私の学年の行事の数は適切である。(高校 肯定率 75.0%。昨年度より 5.3%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、教科の進度や内容の公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。(中学 肯定率 84.9%。昨年度より 4.1%増。) ・ 子供は、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(高校 肯定率 80.0%。昨年度より 5.7%増。) ・ この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。(高校 肯定率 95.5%。昨年度より 2.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供は、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(中学 肯定率 79.7%。昨年度より 5.6%減。) ・ この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。(中学 肯定率 87.3%。昨年度より 5.0%減。) ・ 子供が参加する行事の数は適切である。(中学 肯定率 92.5%。昨年度より 3.5%減。高校 肯定率 82.7%。昨年度より 8.1%減。) 	<p>令和4年5月7日に学校評価委員会を開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中学</th> <th colspan="2">高校</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定評価</td> <td>35項目中</td> <td>27項目中</td> <td>35項目中</td> <td>27項目中</td> </tr> <tr> <td>増加項目</td> <td>5項目</td> <td>9項目</td> <td>32項目</td> <td>15項目</td> </tr> <tr> <td>肯定評価 90%以上</td> <td>35項目中 5項目</td> <td>27項目中 13項目</td> <td>35項目中 5項目</td> <td>27項目中 8項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>高校生徒については、ほとんどの項目で前年度より肯定評価が増加している。中学生徒については、ほとんどの項目で肯定評価が減少しているが、2年前と比較すると24項目で肯定評価が増加している。しかし、肯定評価90%以上の項目が中学生徒・高校生とも5項目のみであり、まだまだ肯定評価を得られるような取り組みが求められる。</p> <p>中学生の給食についての肯定率は、45.4% → 58.1% → 62.3%と増加している。2年前から家庭科の食品ロスの単元で学校給食の意義について授業で取り上げている結果と考えられる。</p> <p>清掃・校内美化の項目の肯定評価が、高校生徒で大幅に増加している。高1の肯定評価が高く、高校全体の数値を押し上げている。教職員でも同様の項目の肯定評価が増加しているが、これは一昨年度の高校2年の肯定評価が15.4%と著しく低かったことが大きな要因である。</p> <p>中学で読書の習慣の項目の肯定評価が大幅に減少している。国語科としての取り組みに変わりはないが、人権アンケートで「家で一番すること」に「ネット」と回答した中学生は40.8% → 43.2%と増加しており、スマホに時間を奪われて読書の時間が減少している中学生の実態が浮き彫りになっている。</p> <p>生徒や保護者の回収率がまだまだ低い。Classiのアンケート機能を利用するなど、回収率を高める工夫をしたい。</p>		中学		高校		生徒	保護者	生徒	保護者	肯定評価	35項目中	27項目中	35項目中	27項目中	増加項目	5項目	9項目	32項目	15項目	肯定評価 90%以上	35項目中 5項目	27項目中 13項目	35項目中 5項目	27項目中 8項目
	中学		高校																						
	生徒	保護者	生徒	保護者																					
肯定評価	35項目中	27項目中	35項目中	27項目中																					
増加項目	5項目	9項目	32項目	15項目																					
肯定評価 90%以上	35項目中 5項目	27項目中 13項目	35項目中 5項目	27項目中 8項目																					

<p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、生徒に清掃、校内美化に取り組み、施設設備を大切にすることを養っている。(肯定率 68.8%。昨年度より 15.8%増。) 本校では、教育目標と将来ビジョンを教職員が共有し、生徒、保護者にも浸透している。(肯定率 76.6%。昨年度より 15.2%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、担任あるいは教科担当者と連絡を密に取り、授業規律の改善に努めている。(肯定率 88.3%。昨年度より 11.7%減。) 本校では、事件、事故が発生した場合の迅速な対応について、警察、消防との連携、訓練など、安全対策は充分にとられている。(肯定率 63.6%。昨年度より 11.1%減。) 私は、教員同士の授業相互見学等に参加し、授業力アップに努めている。(肯定率 64.9%。昨年度より 11.0%減。) 	<p>教職員については、41項目中25項目で肯定評価が増加した。</p> <p>教育目標と将来ビジョンの共有の項目で肯定評価が増加したのは、前年度の大幅ダウンの反動であり、例年の数値に戻った。</p> <p>昨年度は授業規律の項目の肯定評価が大幅アップし100%となったが、今年度は大幅ダウンとなった。また、授業力アップの項目も、特に担任で昨年度より34.0%減と大幅ダウンとなった。互いの授業を見学し合うことで研鑽するという気風が薄まりつつあるのではないだろうか。</p> <p>安全対策の項目の肯定評価が大幅ダウンとなったが、B回答からC回答への移動が主である。大雨警報により大阪府880万人訓練が中止となり、避難訓練が年度内に一度も実施されなかったことが主な要因と考えられる。</p>
--	---

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率 70%以上(生徒アンケート)	ア 「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けた。また、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。 イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	ア 中学 肯定率 93.7%で 達成 。昨年度より 0.3%増。 高校 肯定率 92.7%で 達成 。昨年度より 4.6%増。 イ 中学 肯定率 63.2%で 未達成 。昨年度より 4.7%減。 高校 肯定率 70.2%で 達成 。昨年度より 3.6%増。	これまで以上に「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。 生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「道徳やH.Rの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。」の肯定率 75%以上(生徒アンケート)	ア 進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、HR・総合の時間などで「キャリア・パスポート」に取り組み、将来の進路や生き方について考えさせた。	ア 中学 肯定率 75.8%で 達成 。昨年度より 4.4%減。 高校 肯定率 77.8%で 達成 。昨年度より 4.2%増。	これまでの取り組みを継続するとともに、「キャリア・パスポート」の取り組みをさらに充実させる。また、卒業生の経験談を聞く機会をさらに増やす。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率 80%以上(教職員アンケート)	ア 年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率 75.3%で 未達成 。昨年度より 0.6%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率 85.3%で 達成 。昨年度より 0.4%減。 高校 肯定率 83.7%で 未達成 。昨年度より 3.4%増。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面(職員会議など)を通じて全教職員に徹底する。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート)	ア 「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率 87.9%で 未達成 。昨年度より 2.0%減。 高校 肯定率 88.9%で 未達成 。昨年度より 1.9%増。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝える機会をさらに増やす。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率 82.1%で 未達成 。昨年度より 3.9%減。 高校 肯定率 85.3%で 達成 。昨年度より 7.3%増。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる(特に中学1年生)。

<p style="text-align: center;">3 行事・クラブ活動</p>	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)</p> <p>ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上(生徒アンケート)</p>	<p>ア コロナ禍でほとんどの行事が中止となってしまうが、そのぶん、実施できた文化祭と体育大会に力を注ぐことができた。</p> <p>ア コロナ禍で活動が制限される中でも、感染予防対策をした上で、できるだけ活動ができるように工夫して取り組んだ。</p>	<p>ア 中学 肯定率 85.6%で達成。 昨年度より 1.5%減。 高校 肯定率 82.1%で未達成。 昨年度より 5.7%増。</p> <p>ア 中学 肯定率 84.6%で達成。 昨年度より 0.2%減。 高校 肯定率 82.9%で達成。 昨年度より 4.5%増。</p>	<p>コロナ禍においても、行事の実施を追求する。また、それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。</p> <p>クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図りつつ、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、可能な限り活動を保障する。</p>
<p style="text-align: center;">4 施設・設備</p>	<p>(1) 新設備のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面ではほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上 (保護者アンケート)</p> <p>イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 50%以上 (中学生徒アンケート)</p>	<p>ア オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。</p> <p>イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。さらに、中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作った。</p>	<p>ア 中学 肯定率 90.2%で達成。 昨年度より 3.0%減。 高校 肯定率 92.8%で達成。 昨年度より 1.4%減。</p> <p>イ 中学 肯定率 62.3%で達成。 昨年度より 4.3%増。</p>	<p>新たに整備した校内Wi-Fiやタブレットの利用を促す。また、オンラインでの双方向授業が可能な環境を整備する。</p> <p>中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作るなど、今後もこれまでの取り組みを継続していく。</p>